

■創 立 / 昭和29年6月3日

■第67代 会長 / 野口 捷代 幹事 / 小河 静雄

■事務所 / 藤沢市藤沢 93 新堀ライブ館 204 TEL:0466-25-4000 FAX:0466-26-9292 E-mail:info@fujisawa-rotary.com

■例会日 / 毎週水曜日 12:30~13:30

■例会場/ 湘南クリスタルホテル TEL: 0466-28-2111

NO. 17

第 3214 例会

2020年

11月

11日

天侯 晴れ

ロータリーソング「奉仕の理想」 「四つのテスト」 深谷 大樹 会員

≪ゲスト・ビジターの紹介≫

卓話ゲスト: 石塚 愛 様 (財団学友)

(紹介者:大野木 会員)

ゲスト:キョン クンヘ 様

(藤沢 RC 委嘱米山奨学生)

(紹介者:吉野 米山カウンセラー)

ビジター:中山 冨貴子 様

(地区平和フェロー・奨学金委員長/茅ケ崎 RC)

≪会長報告≫

- ・今日もさわやかに晴れわたって、気持ちの良い日です。市内のイベント、屋外の門が少し戻ってきで、明るい気持ちになります。
- ・ 先日、ご案内しましたインドへの緊急特別支援へ お礼状が参りましたので、ご披露いたします。

≪幹事報告≫

- ・本日、Zoom 出席者はいません。
- ・例会後、IM 実行委員会を開催致します。該当

出席報告

)内は計算に用いた会員数

+[]は Zoom 出席者

会員はご出席お願い致します。

- ・11月4日の理事役員会報告
 - 1. 次年度理事役員選考会を 11 月 18 日、開催いたします。

年次総会は12月9日となります。

- 2. 12月16日は、夜間例会を開催致します。 今回は会員のみの会とさせていただきます。 親睦委員会より2組のゲストをお呼びいただ いております。ぜひご出席ください。
- 3. 1月の新年初例会・新年会は、夜間移動例会を 予定しております。会場の関係で6日を変更 し、7日(木)にさせていただきます。詳細は、 後日ご案内致します。新年会らしい催しを親 睦委員会で計画していただいております。
- 4. 1月13日(水)クラブ協議会で、上半期活動報告をお願い致します。
- 5. クラブ会計は、今後ネットバンキングを利用 することが承認されました。
- 6. R 財団奨学生カウンセラーを小澤会員にお引 受けいただき、廣島会員がサポートに入って 下さることとなりました。

例会月日	会員数	出席会員数	欠席会員数	出席率	メークアップ 会員数	修正出席者数	修正出席率
10月28日	44(43)名	29名	14名	67. 44%	0名	29名	67. 44%
11月11日	44(43)名	24名	19名	55. 81%		_	

≪委員会報告≫

・ 椋梨 兼彰 地区青少年交換委員長 9月7日に行った青少年交換帰国学生の報告会の様子が、編集して You turb で公開となりました。事務局よりサイトのアドレスが連絡してあります。ロータリー関係者だけの公開とさせていただきます。ご視聴ください。

≪お祝い≫

会員誕生日 11月13日 小河 静雄 会員



地区大会長寿会員のお祝い 泉 信子 会員



≪スマイル報告≫

中山 冨貴子 様

(地区平和フェロー・奨学金委員長/茅ヶ崎 RC) 平和フェロー・奨学金委員会の中山です。本日は財団月間に学友の卓話をご希望いただき、ありがとうございます。

どうぞよろしくお願いいたします。

泉 信子 会員

久保田英男ガバナー様、そして皆様、長寿のお祝い 有り難うございます。

椋梨 兼彰 会員

石塚様、キョン クンへ様、中山様、本日はようこ そ。

石塚様、本日の卓話よろしくお願いします。

本日はお気に入りの「ゆであずき」のリングで来ま した。

大野木 加代子 会員

石塚さん、中山委員長、本日はよろしくお願い致します。

鈴木さん、かながわ信金捷ありがとうございました。 小河幹事、湘南ふじさわジャズミーティング大成功、 おめでとうございます!

小河 静雄 会員

誕生日のお祝いをありがとうございます。

元気にがんばります。

≪米山奨学金のお渡し≫

キョン クンヘ さん



11月末、一時帰国なさいます。次回の例会は、Zoom 出席となります。



≪小話 3分間スピーチ≫

木島 英夫 会員



75 歳まで、市役所の隣組朝日町で開業していました所へ、息子が眼科医院を開業しました。住まいを作る時、建築家が一生懸命やってくれたのですが、庭の整備費用がありませんでした。そこで、私が手作りで庭をやることになりました。これが、やってみると面白くて、花も実もある道楽なのだとわかりました。

今日遅くなったのも、山内病院の整形外科外来を宗4 日半日づつやっているからです。他にも警察の嘱託医、 市の委員会など毎日のように用事が入り忙しくして います。お迎えが来たら「忙しいから」とお断りする 理由があるということにしようと思っています。

≪ロータリー財団月間卓話≫

「ロータリーでの留学経験と それが今どのように生かされているか ~2度の留学を経て~」

R 財団学友 石塚 愛(いしづか あい) 様

(紹介者:大野木 加代子 会員)





はじめに自己紹介をさせていただきます。私は二宮町の出身で、県立厚木高等学校、青山学院大学教育人間科学部心理学科、Mills College(ミルズカレッジ)の教育学部チャイルドライフ学科で修士課程を修了し、現在は横浜市立大学附属病院にてチャイルド・ライフ・スペシャリスト(CLS)という専門職で勤務しています。

私は青少年交換プログラム(2009-2010 年度)とロータリー財団地区奨学金(2015-2016 年度)に選んでいただき、これまでに2度アメリカに留学することができました。高校生の頃から CLS という、病院に入院している/通院している子どもたちとその家族の心理社会的支援を行う専門職になるという夢をずっと持ち続けていました。ロータリーでの2度の留学は私の高校生の頃からの夢を叶えてくれただけでなく、人生を変える大きな転機となったのです。

地区奨学生の時にはカリフォルニア州のオークラン ドにある大学の学生で学業と実習に励んでいました。 学部は女子のみ、大学院は男女共学で、生徒は約1200 人ほど、留学生は全体の約1%という大学でした。キ ャンパス内はとても自然豊かで、リスやスカンクだけ でなくシカまで住んでいました。ホストクラブは5170 地区のオークランド#3(ナンバースリー)という、世界 で3番目に創設された歴史あるクラブで会員数が300 人以上います。私は授業と実習の兼ね合いで中々例会 にお邪魔することができませんでしたが、最初で最後 の例会ではホストクラブで初めて女性会長になられ た方や当時の国際ロータリーディレクターのブラッ ド・ハワード氏にお会いすることができました。また、 その際にカウンセラーご夫婦からのサプライズでポ ール・ハリス・フェローの認証をいただき、留学中の 忘れられない思い出のひとつとなりました。

この留学中のハイライトとしては、①授業・実習・言 語の壁、②人・環境に恵まれた、③様々な価値観に触 れることができた、の3つに集約されると思います。 ①は高校時代の留学とは違い、より高度で専門的な勉 強に、幼稚園や病院での実習も組み込まれ、身体的に も心理的にも辛い時期がとても多くありました。最初 は慣れることに必死であったと同時に自身の能力に 自信を無くしていましたが、同期と励まし合い2年間 の台風のような留学を乗り切れたと強く思います。こ の経験は現在の職場で外国人の患者対応をする際に も活かされています。②は大学院のスタッフや教授、 同期だけでなくカウンセラーをはじめとするロータ リアンの皆様、そして高校時代からのホストファミリ ーと友人、多くの素敵な方々に恵まれた留学生活であ ったことです。一人ひとりの温かな応援が夢を叶える ための大きな原動力となりました。③は私の住んでい たオークランド周辺はベイエリアと呼ばれ、カリフォ ルニア州のリベラルな授業の中でも多様性や民族性、 LGBTQ のことがディスカッションのトピックとして 何度も挙げられていました。その中で日本人である私 も意見を求められることがあったのですが、「ほとん どの時間を日本人に囲まれて生きてきた私にとって、 民族性や多様性について考える機会が少なかった」と いう事実に気がつけたこと、そして改めて考えるきっ かけになったことは大きな収穫であったと感じてい ます。Mills College での学びは私のこれまで持ってい た価値観を良い意味で壊してくれました。



最後に私の現在の仕事である CLS という専門職のことについて皆様に知って頂けたらと思います。病院で治療を受けている子どもたちは、不安・ストレス・葛藤・罪悪感等様々な感情を抱えています。その中で CLS は子どもたち一人ひとりの病院での経験に付随

する不安や恐怖が少しでも軽減され、頑張りを引き出 し前向きに治療に取り組んでいけるよう支援してい ます。また、子どもたちの生活の中心である「遊び」 に価値を置き、子どもたちがその子らしく過ごせるよ うサポートしています。CLS は元々アメリカで誕生し た資格であり、現在もアメリカ又はカナダの大学・大 学院で単位を取得することが求められます。2020年 9月現在33施設47名が日本の医療機関で勤務してお りますが、全ての都道府県には配置されていない現状 にあります。神奈川県には私を含め3名しかおらず(全 て横浜市の医療機関)、すぐに人数を増やすこともでき ないため、講演会や勉強会にて CLS の専門性を多職種 に知ってもらったり、それぞれの医療機関に個別に対 応させてもらいながら、少しでも子どもたちに良い影 響として還元されるよう頑張っています。 CLS は様々 な役割を持ちながら活動していますので、興味のある 方はぜひホームページを見ていただければ幸いです。







中山 地区平和フェロー・奨学金委員長より、ロータ リー財団の役割と寄付の使われ方についてお話いた だきました。



大野木 会員より、石塚様をご紹介いただきました。



石塚様は、CLS としてのお仕事と共に、財団学友会の 代表幹事としてもご活躍です。



石塚様に野口会長より謝辞



本日のお料理

